

第12回 地域活動事例発表会

第12回(2019年度)地域活動事例発表会が11月18日(月)
近江八幡市総合福祉センターひまわり館で開催されました。

当日来賓として滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 課長
新垣 真理様、近江八幡市 市長 小西 理様、近江八幡市社会福
祉協議会 会長 鳶本 深照様、滋賀県社会福祉協議会 事務局長
谷口 郁美様にご出席いただき、3名の方から祝辞をいただきました。
各支部から選ばれた9名の方から発表していただきました。今
回の参加者は167名でした。日頃からボランティア活動に積極的に
取り組まれ、大変興味深く聞かせていただきました。



同窓会会長



滋賀県健康福祉部



来賓の皆様



近江八幡市 市長



近江八幡市社会福祉協議会会長

写真をクリックすると動画または写真が表示される。

会場の様子



総合司会 藪草津栗東支部長



事例発表会ダイジェスト

ボケ防止から始めた「連鶴」

守山・野洲支部

重盛 攻治

奥びわ湖観光ボラレティアガイド活動

湖北支部 富永 洋司

犬上川沿岸疎水沿い桜並木路の整備

「せせらぎ三九良（サクラ）会」

湖東支部 北川 勝美

朗読ボラレティア「うさぎのミミ」の活動

からつながり広がるボラレティアの輪

甲賀・湖南支部 米田 幸子

「日野駅なないろレイ大カフェ」の開店

中部支部 福永 保

「今津街歩きボラレティアガイド」について

高島支部 木下 納

大津支部の会報誌「かけはし」よもやま話

大津支部 松岡 克己 実

「大正琴・琴泉会と勝ちやんず」

近江八幡支部

勝田 裕市 山本 哲夫
木村 荻女

経験で培った能力で社会貢献活動

草津・栗東支部 和田 一馬



ボケ防止から始めた「連鶴」

重盛 攻治 32期(健康レク)

ボケ防止から始めた連鶴

レイ大32期健レク 重盛 攻治

日本の伝統文化である「和紙」「Origami技術」を伝承し広めたいとの思いから折り紙技術の代表でもある「折り鶴」に取り組んでいます。「折り鶴」は無形文化財に指定され、その中の「連鶴」は49種類あります。又、それに伴う狂歌も49種類ありこれらを各会場で教えています。折り紙は手を使い出来上がりを考え創意工夫し、過去の記憶を呼び起こす等、前頭葉、頭頂葉、側頭葉を刺激し認知症、ボケ防止に最適であります。新聞、テレビを通し老人ホーム、公民館、折り紙教室等を利用して広めております。



奥びわ湖観光ボランティアガイド活動

富永 洋司 31期(スポレク)

レイカディア大学同窓会湖北支部 地域活動報告

奥びわ湖観光ボランティアガイド協会活動

レイカディア大学米原校
スポレク31期生
富永洋司

2012年より奥びわ湖観光ボランティアガイド協会会員です。

会員数は64名で、その内レイ大卒の会員は9名が活躍。ガイドエリアは長浜市の、湖北町～余呉町までの湖北一円です。私の年間ガイド数は益70回、延べ案内数は500人になります。湖北地方は自然、歴史、文化が共存し多くの観光客が訪れます。お客様を案内して、良かったまた来ます！と喜ばれた時は、やりがいと元気をもらえます。



犬上川沿岸疎水沿い桜並木路の整備 【せせらぎ三九良(サクラ)会】

北川 勝美 39期(米原園芸)

=「課題学習テーマ」の継続実施～
地域活動=

犬上川沿岸疎水
桜並木路の整備

グループ名:せせらぎ三九良会
〔レイカディア大学米原校 39期園芸学科
犬上川沿岸桜並木路整備グループ6名〕

甲良町・多賀町の犬上川沿岸疎水沿いの桜並木路が、4月の桜の開花シーズンに関わらず、残念乍ら整備が行き届かず美さも半減し、近年は足も向かない状況になっていた。レイ大2年次に、同級生6名で「せせらぎ三九良会」を結成。綺麗な桜並木路を取り戻すべく整備作業に取り組んだ。一過性にせず他の三九良会(39期園芸学科)メンバーとも協働し、4月の桜開花時期に照準を合せ2・3ヶ月毎に主に除草作業を、時期を見てテングス病の除去作業等を実施し、環境美化に努めている



朗読ボランティア「うさぎのミミ」の活動からつながり 広がるボランティアの輪

米田 幸子 37期(地域文化)

第12回
地域活動事例発表会



朗読ボランティア「うさぎのミミ」
の活動からつながり広がる
ボランティアの輪

甲賀・湖南支部
37期地域文化 米田 幸子

1994年社協主催で視覚障がいの方に様々な情報を提供するボランティア育成を目的とした「朗読ボランティア養成講座」が開講、7人のメンバーが「朗読ボランティアうさぎのミミ」を設立し、現在に至る。活動は、小学校、介護施設、サロン等多数。異種ボランティアとも手を結び活動中。

「日野駅なないろレイ大カフェ」の開店

福永 保 39期（北近江文化）

日野駅なないろレイ大カフェ

中部支部日野分会
福永 保

平成29年10月1日、木造駅舎として100年以上の歴史を持つ近江鉄道日野駅が生まれ変わり、「なないろというカフェ」が誕生。支部日野分会では、平成30年7月から毎月「レイ大カフェ」を開店レイ大カレーなどの人気メニューもあり、常連客も多い交流スペースとなっている。また、日野中学校のサツキ剪定などボランティア活動も実施し、「レイカディア大学」の名前を日野で広く浸透させる活動を行っている。

「今津街歩きボランティアガイド」について

木下 納 28期（米原園芸）

今津町 街歩き
ボランティアガイドについて

高島支部 木下 納

JR主要各駅に置いてある「JRふれあいハイキング」を見てください。「地元ガイドとまち歩き」を旗印とし、人口はわずか11466人（令和元年7月末現在）の小さな町ですが、JR近江今津駅から「琵琶湖周航の歌資料館」を経て今津港～町並み散策～加賀藩代官屋敷跡～ヴォーリズ建築～旧江若鉄道の今津駅舎など、2kmの行程を2時間かけて説明します。今津港からの琵琶湖の眺めは最高ですよ！

大津支部の会報誌「かけはし」よもやま話

松岡 克実 32期（健康レク）

大津支部会報誌
「かけはし」よもやま話

レイカディア大学同窓会
大津支部 32期 健康レク
松岡 克実

大津支部会報誌「かけはし」は発刊20周年を今年7月に迎え、最新の10月号で累計66号となりました。会報誌はともすればボランティア活動との見方をされないことも多々ありますが、「支部会員の心の窓として情報や交流の手段として、みんなでつくる会報として力を合わせ知恵を出し合って育てゆく」と発刊の趣旨を謳っています。「かけはし」の歴史を振り返るなど『かけはしよもやま話』として発表します



「大正琴・琴泉会と勝ちゃんず」

木村 萩女 37期(米原健康づ)
勝田 裕市 37期(北近江文化)
山本 哲夫 37期(北近江文化)

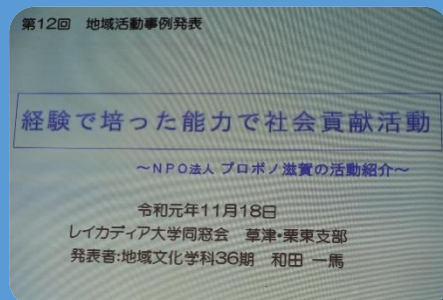


卒業後に結成し2017年1月13日に慰問活動を始め、今日までに約38カ所へ訪問して来ました。30年程前から音楽ボランティア活動をしてきた木村と、ボランティア活動の為に腹話術を習い始めた勝田さんとの出会がありました。北近江文化学科で制作した紙芝居、大正琴の演奏曲の歌詞を大きく見易くする為にパワーポイント・プロジェクターの利用を取り入れることに山本さんが加わってくれました。子ども食堂、医療センター、老人会、保育園等へと慰問活動をしてきた活動の様子を発表します。



経験で培った能力で社会貢献活動

和田 一馬 36期(地域文化)



私たちは「あなたとわたしの 経験と力で 社会を支える」ことをモットーに職業や経験で培ったスキルを活用して社会貢献活動をしています。支援を必要とする方々(利用者・支援者)とプロボノワーカーの”思い”大切にし、その活動のプロセスで多様な人や組織が相互に対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるようにマッチング・コーディネートを行い、支援の実践の中で一人ひとりが、元気で活力ある地域社会づくりを目指しています。

閉会の挨拶(奥田地域活動部会長)



[発表会の風景アルバム](#) [📄こちらをクリック](#)